

児童発達 保護者

チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	保護者様より
子どもの活動スペースが確保されているか	○			走り回れる
職員の専門性や配置数	○			マンツーマンに近い、適切な配置である。
子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されているか	○			されている
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			いつも色々な工夫がされている
支援の内容、利用者負担等、丁寧な説明があるか。共通理解はあるか。	○			家での様子と活動の様子は、連絡ノートで。
面談や助言の支援はあるか	○			気になる事は、その日のうちにある。
事業所の支援に満足しているか	○			大変満足。出来ることがすごく増えた。

【アンケート公開にあたり、当事業所より】

活動スペースは、法律で決められた広さを満たしています。
また、トイレは、3か所、シャワー室、休憩室、洗濯室、手洗い、流し等あり。
災害時用備品置き場は、別場所にあります。

保護者会は、ありません。これは、保護者様、職員等の負担の軽減につながっています。
子どもについての質問等は、個別にいつでもできます。
また、当事業所から質問をさせていただくことがあります。

新型コロナやインフルエンザ等の感染症については、事業所を休所とする等して感染防止を図って来ましたが、
今後も同様です。

当事業所内で、障害についてや、ご質問に合わせた勉強会を、1年に1～2回、独自に開いています。
職員が勉強したテーマで自由に発表しています。ご参加ください。

併用している幼稚園や保育園を訪問し、先生方と情報を交換しあっています。
当事業所の支援の仕方と併せ考えることで、質の良い支援につなげ、保護者様の不安を軽減出来るよう、努めています。

さくら学童 保護者

チェック項目	はい	どちらとも	いいえ
子どもの活動スペースが確保されているか	○		
職員の専門性や配置数	○		
子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されているか	○		
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○		
支援の内容、利用者負担等、丁寧な説明があるか	○		
父母会の活動の支援や、父母会の開催があるか	○		
子どもは通所を楽しみにしているか	○		

【アンケート公開にあたり、当事業所より】

活動スペースは、法律で決められた広さを満たしています。
また、トイレは、3か所、シャワー室、休憩室、洗濯室、手洗い、流し等あり。
災害時用備品置き場は、別場所にあります。

保護者会は、ありません。これは、保護者様、職員等の負担の軽減につながっています。
子どもについての質問等は、個別にいつでもできます。
また、当事業所から質問をさせていただくことがあります。

新型コロナやインフルエンザ等の感染症については、事業所を休所にする等して、感染防止を図って来ました。今後も同様です。

当事業所内で、障害についてや、ご質問に合わせた勉強会を、1年に1～2回、独自に開いています。
職員が勉強したテーマで自由に発表しています。ご参加ください。

プログラムの固定化については、基本は固定しています。
内容については、例えば、4月の内容と、10月の内容では、成長に合わせていますから、自ずと異なってきます。

みんなのさくら 事業者

チェック項目	はい	どちらとも	いいえ
子どもの活動スペースが確保されているか	○		
職員の専門性や配置数	○		
子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されているか	○		
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○		
支援の内容、利用者負担等、丁寧な説明があるか	○		
父母会の活動の支援や、父母会の開催があるか	○		
子どもは通所を楽しみにしているか	○		

【アンケート公開にあたり、当事業所より】

活動スペースは、法律で決められた広さを満たしています。
また、トイレは、3か所、シャワー室、休憩室、洗濯室、手洗い、流し等あり。
災害時用備品置き場は、別場所にあります。

保護者様からの主訴は、「発語」「友達とうまく遊べない」「目が合わない」「痲癢」などです。
保護者様には「安心」な気持ちを、利用児には「楽しい」を常に持っていただけるよう、プロとして心がけています。

新型コロナやインフルエンザ等の感染症については、事業所を休所にする等して、感染防止を図って来ましたが、今後も同様です。

当事業所内で、障害についてや、ご質問に合わせた勉強会を、1年に1～2回、独自に開いています。
職員が勉強したテーマで自由に発表しています。ご参加ください。

プログラムの固定化については、基本は固定しています。
内容については、例えば、4月の内容と、10月の内容では、成長に合わせていますから、自ずと異なってきます。

さくら学童 事業者

チェック項目	はい	どちらとも	いいえ
利用定員が訓練室スペースとの関係で適切か	○		
職員の専門性や配置数	○		
アンケート調査等により保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○		
支援開始前に打ち合わせがあるか 役割分担について確認しているか	○		
支援の振り返りを毎回しているか	○		
子どもの状況を保護者に伝えているか	○		

【アンケート公開にあたり、当事業所より】

活動スペースは、法律で決められた広さを満たしています。
広ければよいという理屈は成り立つと思いますが、家賃は収入から捻出しますから、限界があります。

当事業所は、現場最優先です。
ここから、障害についてや課題を見つけ、言語化し、実践に繋げています。
経験と努力しかないと考えています。

打ち合わせの内容は、「心」と「身体」と「社会」を中心として、全力で取り組んでいます。

当事業所内で、障害についてや、ご質問に合わせた勉強会を、1年に1～2回、独自に開いています。
職員が勉強したテーマで自由に発表しています。ご参加ください。

保護様へは、すべての送迎時に、直接、お伝えしています。
事業所として「お声掛け」させていただくこともあります。